

2014年度（後期）指定公募①

『在宅看取り』をテーマとした市民のつどい 完了報告書

平成 27 年度 県民フォーラム

2025年の地域包括ケアシステムの構築に向けて、さまざまな課題が山積している中で、在宅での看取りはその中でも、特に重要な課題のひとつと考えられるため、本年度においては、「“私らしく”を支えて わが家で生ききるとは」～看取りを経験されたご家族からのメッセージ～と題して、県民フォーラムを開催した。

前段では、在宅かかりつけ医のお立場で、つちやま内科クリニックの土山雅人先生より、現在の在宅での看取りの現状や課題をお話いただき、さらには今後の期待される将来像についてもわかりやすく、お話いただいた。後半のシンポジウムにおいては、前段の土山先生をコーディネーターとてお迎えし、看取りを経験されたご家族とそのご兄弟をはじめ、今回のケースで関わっていただいた、介護支援専門員ならびに、訪問看護ステーションの担当ナースにご登壇いただき、それぞれのお立場から今回の看取りのなかで感じた「課題や問題点」「よかったことや助かったこと」など経験者でなくては語れない貴重なご意見を聞かせていただいた。特にご家族のご意見の中で「何かをしてもらうというよりも、そばにいて黙って見守っていただいたことに感謝しています。」という言葉にわれわれ援助者の立ち位置に貴重な示唆をいただける言葉であったのではないかと感じました。今回のケースにおいては、なくなられた方の状況が「認知症の進行により、寝たきり状態に陥り、最終的には肺炎を併発しお亡くなりになった症例であったため、ご本人の言葉や希望を聞き取ることができず、ご家族の希望に沿って援助が進められた。それにより、ご家族のお気持ちの中にも「ほんとうにこれでよかったのか」との後悔が残っているとお言葉もあり、看取りに対する難しさや不安全感が浮き彫りにされた形となった。われわれ介護支援専門員を含む援助者にとっては、まだまだ数少ない貴重な経験であり、今回このような形で実体験を聞かせていただいたことは、今後の援助場面においても、大いに参考になったのではないかと考えられる。今後は、ますます増えてくるであろう在宅看取りにおいて、病状も多種多様であり、ご本人を取り巻く環境や家族構成など、さまざまな課題のある中で、われわれ援助者がどのように考え、どのように行動していけばよいのか、また、看取りに直面したご家族に対して勇気をいただけるような意味で、非常に有意義な県民フォーラムになったのではないかと考える。今後も本会においては機会があればこのような取り組みを積極的に行っていきたいと考える。

（公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団の助成による）

一般社団法人 兵庫県介護支援専門員協会
会 長 垣内 達也

平成27年度
県民フォーラム

平成27年7月26日（日）

明石市立産業交流センター 多目的ホール

主催 一般社団法人 兵庫県介護支援専門員協会

助成 公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

平成27年度 県民フォーラム 次第

テーマ：「“私らしく”を支えて わが家で生きるとは」

～看取りを経験されたご家族からのメッセージ～

平成27年7月26日（日） 明石市立産業交流センター 多目的ホール

時 間	内 容
13:30～	受 付
14:00～	開 会 講 演 「在宅で看取るということ」 つちやま内科クリニック院長 土山 雅人 氏
14:35～	シンポジウム ケアマネジャー あいケアセンター苦楽園所長 主任介護支援専門員 松末 秀子 氏 在宅で看取りを経験されたご家族 訪問看護師 訪問看護センター明和 訪問看護師 寺崎 幸子 氏 コーディネーター つちやま内科クリニック院長 土山 雅人 氏
～16:00	閉 会

平成27年度 県民フォーラム

「“私らしく”を支えて わが家で生きるとは」

～看取りを経験されたご家族からのメッセージ～

「在宅で看取るということ」

《 講 師 》

つちやま内科クリニック

院 長 土 山 雅 人

平成 27 年度 県民フォーラム

講演講師 プロフィール

土山雅人 (つちやま 雅人) 氏

つちやま内科クリニック院長

《略歴》

1956 年生まれ

1980 年 北里大学医学部卒業

1980 年～1983 年 東京女子医科大学神経内科

1983 年～1985 年 大阪府立千里救命救急センター

1985 年～1987 年 国立泉北病院神経内科

1987 年～1991 年 兵庫医科大学第五内科

1991 年～1999 年 市立堺病院神経内科・リハビリテーション科

1999 年～2001 年 おおくまりハビリテーション病院神経内科

2001 年 10 月 つちやま内科クリニック開設

現在に至る

専門医：日本神経学会認定神経内科専門医・指導医

日本内科学会認定内科医

日本医師会認定産業医

役 職：兵庫県脳神経外科・神経内科診療所医会副会長

兵庫県保険医協会理事

兵庫県国民健康保険診療報酬審査委員会委員

西宮市医師会医政委員会副委員長

西宮市介護認定審査会委員

講演 「在宅で看取るということ」 つちやま内科クリニック 院長 土山雅人氏

【memo】

平成 27 年度 県民フォーラム

シンポジウム

「“私らしく”を支えて わが家で生きるとは」
～看取りを経験されたご家族からのメッセージ～

平成 27 年度 県民フォーラム

シンポジウム登壇者プロフィール

コーディネーター 土山 雅人 氏

本冊子巻頭に掲載

松末 秀子 氏

株式会社あいケアセンター苦楽園 所長 主任介護支援専門員

資格 介護福祉士

主任介護支援専門員

認知症ケア専門士

経歴 平成 12 年 有料老人ホームにケアスタッフとして介護業界に携わる
平成 17 年 ケアマネジャーとして介護相談員の職に従事
平成 18 年 あいケアセンターに転職し在宅、介護支援専門員として従事
西宮市ケアマネジャー協会会員となる
平成 20 年 あいケアセンター管理者就任
平成 24 年 あいケアセンター苦楽園所長就任

平成 22 年 4 月 西宮市ケアマネジャー協会理事に就任

平成 26 年 6 月 西宮市ケアマネジャー協会理事を退任

現在に至る

寺崎 幸子 氏

訪問介護センター明和

経歴 昭和 55 年 大阪厚生年金看護専門学校卒業、手術室勤務

昭和 58 年 結婚退職

平成元年 内科開業医勤務

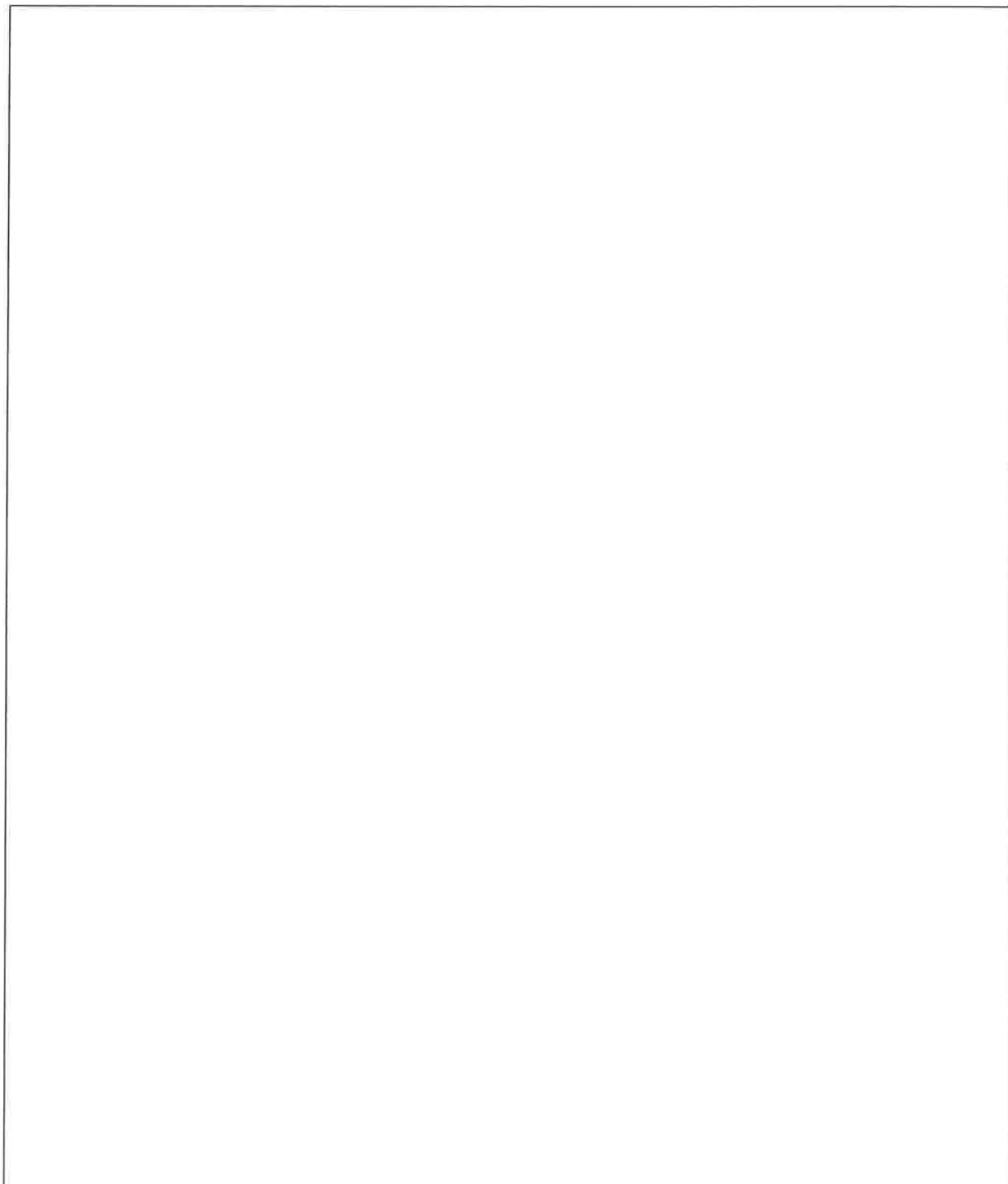
平成 10 年 訪問看護センター明和勤務

平成 26 年 上記更新

現在に至る

在宅で看取ると決断した奥様を支える

介護支援専門員 松末秀子

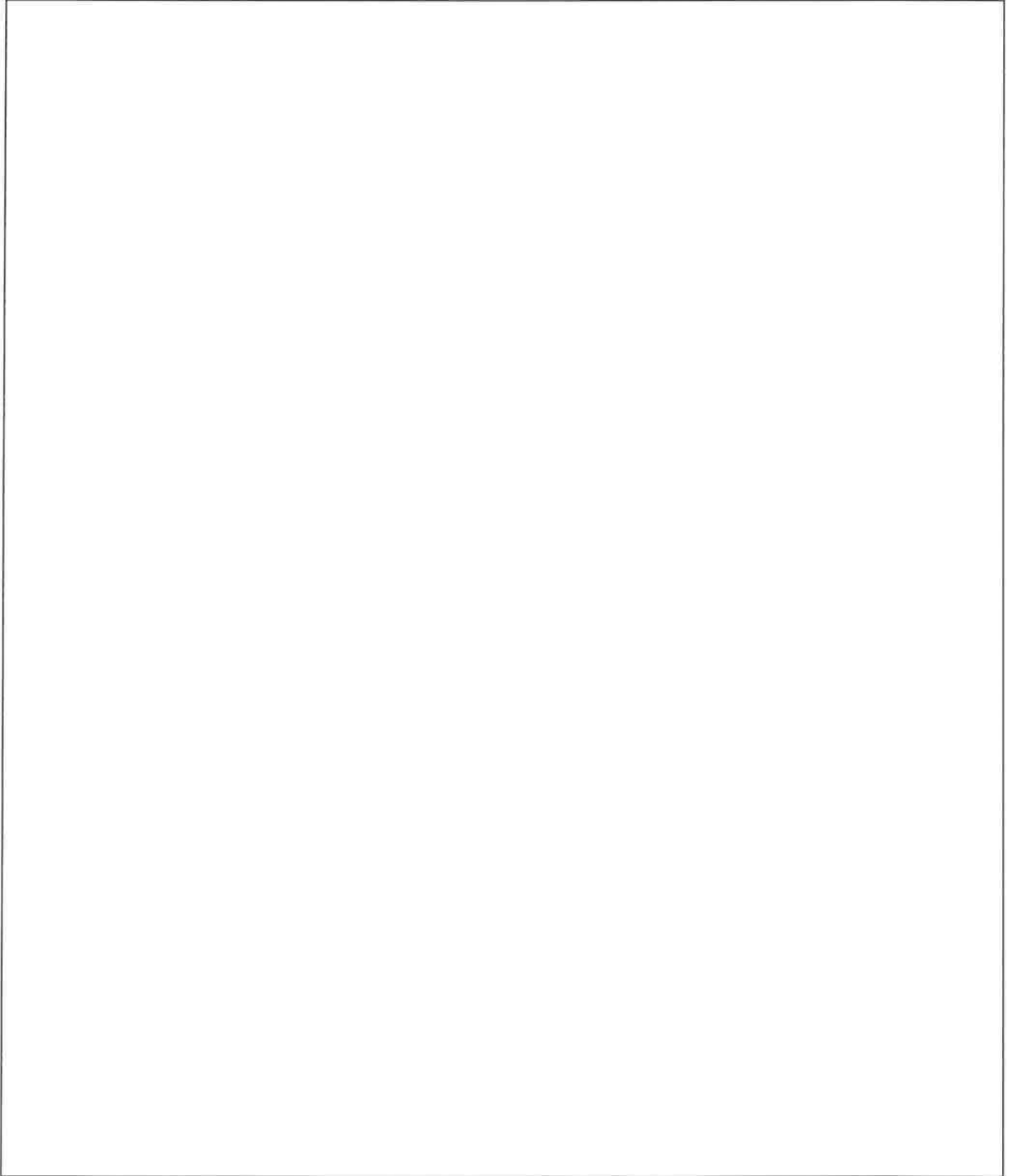


最後の時間をわが家で過ごして

在宅で看取りを経験されたご家族

自宅での看取りを考える

訪問看護センター明和 寺崎幸子



一般社団法人兵庫県介護支援専門員協会
〒651-0062 神戸市中央区坂口通2丁目1番1号
兵庫県福祉センター5階
TEL 078-221-4102 FAX 078-221-4122
<http://www.hyogo-caremanet.com/>
お問合せ info@hyogo-caremanet.com

「私らしくを支えて わが家で生きるとは」

～看取りを経験されたご家族からのメッセージ～

日時

平成27年7月26日（日）

14:00～16:00（受付 13:30～）

会場

明石市立産業交流センター2階 多目的ホール

シンポジウム

コーディネーター

つちやま内科クリニック院長 土山 雅人 氏

シンポジスト

在宅で看取りを経験されたご家族

株式会社リブズ あいケアセンター苦楽園

主任ケアマネジャー 松末 秀子 氏

医療法人明和病院 訪問看護センター明和

訪問看護師 寺崎 幸子 氏

対象・定員

どなたでもお越しいただけます。定員200名

*裏面の参加申込書に記載の上、FAXでお申込みください。

*先着順。定員に達した場合のみお断りのご連絡をさせていただきます。

【お問合わせ】一般社団法人 兵庫県介護支援専門員協会 事務局

神戸市中央区坂口通2丁目1番1号 兵庫県福祉センター5階

TEL 078-221-4102

主催 一般社団法人 兵庫県介護支援専門員協会

後援 兵庫県

助成 公益財団法人 在宅医療助成 勇美記念財団

平成27年度県民フォーラム

FAX 078-221-4122



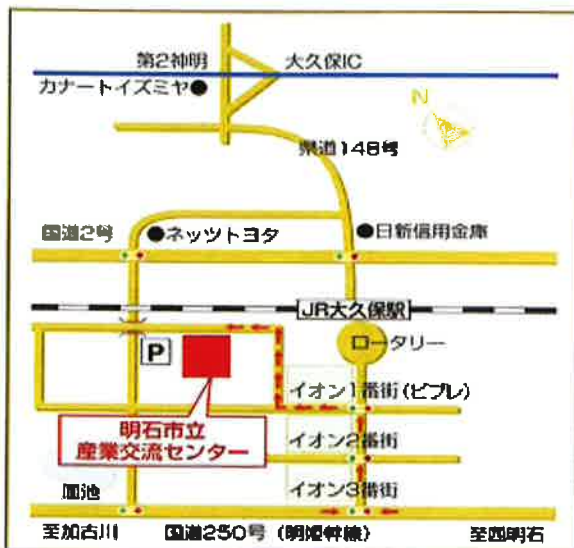
一般社団法人 兵庫県介護支援専門員協会 行

参加申込書

(ふりがな) 氏名
住所 〒
電話番号 () -
*このフォーラムをどこでお知りになりましたか? チラシ 新聞 知人から HP その他 ()
(ふりがな) 氏名
住所 〒
電話番号 () -
*このフォーラムをどこでお知りになりましたか? チラシ 新聞 知人から HP その他 ()

※申込書にご記入いただいた個人情報は、県民フォーラム以外の目的では使用いたしません。
※申込用紙が不足する場合は、コピーしてください。

【会場案内】



■ 駅からお越しの際

JR大久保駅南口より西へ徒歩1～2分

■ 車でお越しの際

・国道250号（明姫幹線）から

イオンの交差点を北側（駅方面）に曲がり、2つ目の信号を左折、100mほど進んで右折して、道なりにJRの線路沿いを走ると左手にあります。

・第2神明道路から

大久保IC下車、県道148号から国道2号を目指して南に進んで下さい。国道2号の信号を右折、右手にネットトヨタが見える信号を左折します。そして、JR線路下を通過して250mほど進んで左折し、さらに150mほど進んで左折し、道なりにJRの線路沿いを走ると左手にあります。